

豊明市事務事業評価票（１７年度事業） ソフト事業及びハード事業用						
事業名		市長への手紙				
総合計画上の事業名		市民意識調査		担当課 市民協働課		
予算事業名		市民相談事業		担当係 広聴市民相談係		
事業の内容		「住んでよかった、住みつづけたい」まちづくりを推進するため、広聴の一環として、市長が直接市民の市政に関する意見・提言を伺い、市政に反映させるためのもの。例年５月号広報に料金受取人払のハガキを折り込んでいる。				
事業の目的		市民からハガキという手段で、広く市政に関する提言・意見をお聴きし、その貴重な提言・意見を市政に反映させる。市政への市民参加の促進を図る。				
指標		提言数（全体の意見・提言数が増えることで、市政に反映できる意見・提言も増えると考えられる。また、それにより市政への市民参加が促進されるたことも意味するので、啓発を行い、意見・提言数を増やす。）				
事業実績及び目標		【実績値及び目標値】				
			実績（通）	目標（通）	職員数	事業費（決算見込額）千円
		平成１４年度	122		0.3	300
		平成１５年度	131		0.3	300
		平成１６年度	122	140	0.3	300
		平成１７年度	100	150	0.3	300
		平成１８年度		160	0.3	300
		平成１９年度		170	0.3	300
		平成２０年度		180	0.3	300
総合評価及び今後の対応		【達成率】 66.66%		成果指標の当該年度目標に対する達成度		
		【必要性】 A		必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択		
		【有効性】 B				
		【効率性】 B				
		【市民満足度】 B				
		【総合評価（担当課）】 A		総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等)		
		手紙という手段は今後も多くの方が使用方法と考えるので、この手法での市民意見の聴取を続けていきたい。				
		【総合評価（審査会）】 B		C 見直しが必要（縮小） D 廃止が相当 から選択		
		内容により回答を工夫するなど検討すること。また、費用対効果についても検討すること（ハガキの折込）。		評価理由についても記載してください		
		【総合評価（最終評価）】 B				
		【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入				
		「市長への手紙」の様式を広報紙への折込及び公共施設に設置しているが、折込を廃止し、公共施設への設置箇所を増やす方法について検討する。				
		【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）				
		事業費削減のため、平成１９年度から「市長への手紙」様式の広報折込廃止を決定した。また、様式の設置を現在の１２箇所から２８箇所程度に増やすことを検討している。これに伴い、広報紙にて「市長への手紙」制度のさらなるPRを行い、様式の設置場所及び任意の様式でもご意見・ご提言を受け付けることを周知する。				